

日本初の老朽原発再稼働強行・美浜3号機

福島事故を見よ！何も解決していない！～350名の人間の発露～ ＜6. 23美浜現地緊急全国集会＞

政府が決めた「40年廃炉」の約束破り、日本で40年ごえ老朽原発再稼働の走りとなる関電若狭美浜原発3号機の再稼働(44年超)が6月23日、午前10時に強行された。集会のスタート、初夏快晴、美浜町役場南の「はあとぴあ」、「管理」した集会を目指す福井県警の「警備」の中、集会とデモ行進は始まった。

原発いらない福島の人たちの黒田さんは、こう力強く報告した。「皆さん知ってますか、3.11以降福島では何も解決していないんです。今季節の春野菜も食べられないんです。汚染水を政府は放出を決めました。これに、福島の原発立地近辺の土地所有者は、タンクを作るために『自分の土地を提供する』とまで言っています。技術はあるんです。石油備蓄のタンクの技術が。なのに、東電と国は全く無視です。金がかかるのでやろうとしない。何一つ解決してない今の福島を知ったなら、再稼働できるものではない。有り得ない。」と強烈にアピールされた。



＜写真上左・真中：デモ出発、右：美浜町にある関電原発事業本部前抗議行動＞＜写真下3葉とも丹生：左は播磨アクション・菅野さん、その向かって右手に美浜3号機が見える。ここから最後のデモ行進で原発ゲート前に向かった＞

四国電力の原発運転60年運転計画の発表。人の命、なにをかいわんやである。

「はあとぴあ」から関電原子力事業本部までデモ行進。シュプレヒコールのあと、申し入れ。

場所を移動し美浜原発3号原子炉が海の向こうに見えるシーパーク丹生。再度全体集会。主催の「老朽原発うごかすな！実行委員会」の木原壯林さんは、「国内唯一の老朽原発再稼働、今日の行動は歴史的な闘いだ。日本の反原発運動が、資本や警察に負けないことを示すのが日本の運動の任務だ。」とその意義を語った。

きょうとユニオン服部恭子書記長(ユニオンネットワーク京都事務局)や釜ヶ崎日雇い労組・三浦俊一副委員長など次々発言。その後ゲート前を通過してのデモ行進。特に今回、関西・福井・北陸・四国・東京・福島など350名の抗議行動となった。関金行動450回目を迎える脱原発播磨アクション、全国から集り、全国の仲間の怒りが爆発した。「再稼働は許さん。」と。

(さいなら原発・びわこネットワーク 井沢清)